

准教授 長江 和哉

教育上の能力に 関する事項	年 月 日	概 要
<p>◎教育方法の実践例 録音技法 I～IV</p> <p>トーンマイスターワーク ショップ</p>	<p>2016年度</p> <p>2016. 7. 2・3</p>	<p>ステレオ、サラウンドの音楽録音作品について分析・研究し、「音楽的、あるいは芸術的にすぐれた音とはどのようなことなのか」をテーマに、クラシックからJazz、Popまで様々なスタイルの音楽録音を行った。また、スタジオでの録音だけではなく、学外のホールでおこなわれた本学オーケストラのコンサートのライブレコーディングの体験を通じ、演奏する場所のアコースティックが録音作品に与える影響について学生が体感することができるように工夫した。</p> <p>本学サウンドメディアコースと碧南市芸術文化ホールが共催し、ベルリンより、トーンマイスター、エバハート・ヒンツ氏を特別客員教授として招聘し、クラシック音楽の音源制作に焦点を当てた特別講義を組織をした。テーマは、「ピアノのセッション録音」とし、7月2日は学生のための特別講義として行い、7月3日は公開講座として本学学生を始め、放送関係などのオーディオプロフェSSIONALの方やピアノ調律師の方、音楽愛好家の方などの多数の参加をいただいた。</p>
<p>◎作成した教科書・教材 録音技法授業用プリント</p>		<p>音楽録音の録音技術についてまとめたプリントを作成し、各授業で活用した。</p>
<p>◎その他 受託研究</p>		<p>スタジオ、ホールでの録音技術を研究するため、学校、演奏団体、音楽系企業と受託研究契約を締結し、コース教員と、学生とともに音楽原盤制作を行った。</p>

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
<p>◎録音 CD マスターズ・プラス・ナゴヤ 祝典前奏曲</p> <p>マスターズ・プラス・ナゴヤ PHOENIX</p> <p>中部フィルハーモニー交響 楽団 第51回定期演奏会 (名古屋公演第9回) 指揮：秋山和慶氏</p> <p>テレビ番組 CBCテレビ 開局60周年記念番組 「伊勢神宮・命あふるる 神々の森 五十鈴川に行く」</p>		<p>2016. 4. 10 収録</p> <p>2017. 2. 8 発売</p> <p>2016. 6. 11 収録</p> <p>2016. 11. 3 放送</p>	<p>Music Office KATO Diskunion</p> <p>MBN1-2016 MBN1-2016</p> <p>三井住友海上 しらかわホール</p> <p>CBCテレビ</p>	<p>東海地区のオーケストラ奏者、音楽大学の講師、フリーランス奏者によって構成される吹奏楽団の愛知県芸術劇場コンサートホールでの第1回定期演奏会のコンサートライブレコーディングを担当。 R. シュトラウス 祝典前奏曲 op. 61 (編曲：鈴木英史 委嘱初演) J. バーンズ 交響曲 第5番「フェニックス」op. 110 他</p> <p>オーケストラの定期演奏会のCDプロダクションを行った。編集後CDとなり支援会員への配布と一般に発売された。 レスピーギ：リュートのための古風な舞曲とアリア第3組曲 フランク：交響曲ニ短調</p> <p>伊勢神宮の神聖な森を貫く五十鈴川の一年を通じたドキュメンタリー番組の音楽録音を担当した。録音は、クラシック音楽にとってふさわしい残響を持った、碧南市 エメラルドホールにて行い、編集を経て、5.1chサラウンドでミキシングした。 第41回JNNネットワーク協議会賞 番組部門・地域・環境番組 奨励賞 2017年シカゴ国際フィルムフェスティバル ノンフィクション番組部門 Certificate of Merit 受賞</p>
<p>◎寄稿 一般社団法人 日本オーディオ協会 JAS ジャーナル 欧州のトーンマイスター教育について(2)</p> <p>PROSOUND Europe 192kHz/24bit サラウンド・レコーディング 佐渡裕指揮 トーンキョンストラ管弦 楽団</p>		<p>2016. 5. 1</p> <p>2016. 5. 18</p>	<p>日本オーディオ協会 2016年5月号 (Vol. 56 No. 3) 通巻440号</p> <p>PROSOUND 2016年6月号 Vol. 193</p>	<p>欧州の音楽大学でのトーンマイスター養成についてオーストリア、ウィーン国立音楽大学とイギリス、サリー大学の概要と現状を、一般社団法人日本オーディオ協会の機関誌に寄稿した。</p> <p>2015年10月オーストリア・ウィーン近郊グラフェネックで行なわれた、ベルリンの録音制作会社バガサス・ミュージック・プロダクションのトーンマイスター、フローリアン・B・シュミット氏とアキ・マトウツシュ氏による、佐渡裕氏指揮 トーンキョンストラ管弦楽団のセッションレコーディングについてレポートを寄稿した。</p>

<p>PROSOUND Report トーンマイスター ワークショップ2016 セミナーレポート</p>		<p>2016. 9. 18</p>	<p>PROSOUND 2016年10月号 Vol. 195</p>	<p>本学サウンドメディアコースと碧南市芸術文化ホールが共催し、ベルリンより、トーンマイスター、エバハート・ヒンツ氏を特別客員教授として招聘し開催した「トーンマイスターワークショップ 2016」の詳細についてレポートを寄稿した。</p>
<p>ステレオサウンド ジャン＝マリー・ハイセン氏、ペンタトーンの音を紡ぎ出すバランスエンジニア</p>		<p>2016. 12. 12</p>	<p>ステレオサウンド No. 201 2017年 WINTER</p>	<p>フィリップス・レコーディングセンターが源流である、オランダの録音制作会社、ポリヒムニアのバランスエンジニア、ジャン＝マリー・ハイセン氏に、録音哲学や録音手法についてインタビューし、レポートとして寄稿した。</p>
<p>PROSOUND Europe トーンマイスターターゲング 2016 クラシック音楽の録音哲学 part 1</p>		<p>2016. 3. 18</p>	<p>PROSOUND 2017年4月号 Vol. 198</p>	<p>2016年11月ドイツ・ケルンメッセで行なわれた、ドイツ・トーンマイスター協会主催、第29回トーンマイスターコンベンションでのクラシック音楽録音の録音哲学をテーマとした、プレゼンテーション、シュテファン・フロック氏による、「クラシック音楽の録音芸術」についてをまとめ、追加インタビューを行いレポートとして寄稿した。</p>
<p>◎講演 一般財団法人 カワイサウンド技術・ 音楽振興財団 第31回 研究助成講演会</p>		<p>2017. 1. 12</p>	<p>アクトシティ浜松 研修交流センター</p>	<p>2016年度に、カワイサウンド技術・音楽振興財団より研究助成を受けた、「名古屋芸術大学サウンドメディアコースとベルリン芸術大学トーンマイスターコースに置けるマイクアレンジ比較音源の開発」について、これまでの取り組みと、今回の助成で2018年1月にベルリン芸術大学と共同で行う主要オーケストラ楽器の比較収録について、概要を解説した。</p>